

令和元年度 科目名 (現代社会)

1 対象年次、単位数、使用教科書

1年次 (必修)、2年次・3年次 (未修得生・転編入生)

2単位、『高等学校現代社会新訂版』(清水書院)

2 科目の目標

現代の社会と人間についての理解を深め、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断できる力の基礎を養う。

3 評価規準 (何を評価するか)

- 1、教科書の内容を理解し、基本的な事項について知識を深めることができるか。
- 2、社会の動きについて興味・関心を持ち、さらにそれを深める意欲を持っているか。
- 3、社会の動きについて自己の意見を持ち、それを表明することができるか。

4 評価基準 (どんな方法で評価するか)

- ・ 評価規準のうち、1についてはレポート・テストで評価する。
- ・ 評価規準の2、3についてはそれにかかわるレポートの設問で評価する。
- ・ レポートの不合格者については、解答についてのヒントを示した上で、合格するまで再提出を求める。
- ・ 評価はレポートの成績、テストの成績を中心に、レポートの提出時期、スクーリング出席時数 (単位認定に必要な時数を超える時数) も算入して決定する。

5 試験範囲

- ・ R1～R3の範囲で7月試験、R4～R6の範囲で10月試験を実施する。

6 スクーリングの内容、レポートの内容・計画

- ・ スクーリングは生徒の質問に対応することを中心にし、必要に応じて教科書・レポートの内容についての補足説明をおこなう。
- ・ レポートの内容・計画は右ページの表に。

R	項目	内容	教科書	時期
1	日本の政治のしくみ	国会・内閣・裁判所・行政機関・政党政治・選挙制度・地方政治	58～65 68～73	5月 月上旬
2	日本国憲法と基本的人権	基本的人権・憲法で保障された人権 ・日本の平和主義と安全保障	42～57 66～67 83～84 87 94～95 163 166	5月 月下旬
3	経済のしくみ	資本主義経済・日本経済のあゆみ ・財政・金融	100～106 108～117 122	6月 月中旬
4	貿易と日本経済の課題	貿易と為替相場・社会保障制度 ・労働・環境保全・農業	12～13 108 120～129 143～147	7月 月中旬
5	国際社会と人類の課題	国境・国際連合・国際政治のあゆみ ・地球環境問題	6～8、11 138～142 148～149 151 154～156 160～161 163 170	8月 月中旬
6	青年期・世界の三大宗教・生命倫理	青年期・個性の形成と自己実現 ・世界の三大宗教・生命倫理	14、17～18 26～28 33、36～39	9月 月中旬

*憲法の条文など、巻末の資料ページは省略している。